

令和5年度北海道男女平等参画審議会 当日質問に対する回答

質問内容	回 答
<p>(岡田会長)</p> <p>資料3の、女性25歳から34歳の就業率について、この時期は女性が結婚出産で離職しやすい時期にあるため、この年齢に絞ってのデータだというご説明であり、働く場における女性の活躍推進という方向からすると、この年齢でデータをとってもいいとは思いますが、より広い年齢層のデータ、或いは、一旦離職した後どのような形で職場復帰ができていくかというデータも欲しいと思います。</p>	<p>・「令和5年度第1回北海道労働審議会」(経済部所管)において、男女別、年齢階層別の就業率に関する資料が提供されておりますので、ご参照ください。</p> <p>令和5年度第1回北海道労働審議会 https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/rkr/164878.html</p>
<p>(岡田会長)</p> <p>指標項目21「ひとり親家庭の親の就業率(父子家庭)」について、これを見た時に目標値が88.1。コンマ1というのが、ちょっと珍しいなと思ひまして、資料2の方を見ますと、56ページに、令和元年の目標値が91と出ていたんですけども、この令和元年の91から目標値が88.1に下がったという理解でよろしいのでしょうか。</p>	<p>・お見込みのとおりです。「北海道子どもの貧困対策推進計画」の改訂に連動し、令和2年に目標値が88.1%に下がりました。</p> <p>・これは、道内のひとり親の就業率は、全国の数値と比較して低くなっているため、父子家庭の全国値である88.1%を目標としたものです。</p>
<p>(田中委員)</p> <p>・資料3によれば、男性の育児休業取得率が上がってきているが、実態として何日取得しているのか知りたいです。1日でも取っていたらカウントされることになっているとしたら、私たちが考えている育休というのは、多分それではないと思います。</p>	<p>・従来、育児休業の取得日数の調査は行われておりませんでした。令和5年度「就業環境実態調査」(北海道経済部 令和6年1月10日公表)において、育児休業取得期間ごとの人数(※)が公表されました。</p> <p>※ R4.4.1～R5.3.31の職場復帰者の内訳</p> <p>令和5年度就業環境実態調査 https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/rkr/rsf/tyousa/171122.html</p>